

清 交 社 定 例 午 餐 講 演 会

— 第4,170回 —

令和5年6月6日(火)《開場11時30分》12時15分～1時30分
於 ANAクラウンプラザホテル大阪3階「万葉の間」

◇講師◇ ソプラノ歌手

さめ じま ゆ み こ
鮫 島 有美子 さん

— 講 題 —

『 歌の翼が繋ぐもの 』

【 略 歴 】

1952年生まれ。東京都出身。

東京藝術大学声楽科、同大学院修士課程修了。

1975年、二期会オペラ「オテロ」のデズデモーナ役で主役デビュー。

その後、ベルリン音楽大学に留学。ドイツを拠点にヨーロッパ各地で活躍し、

1982年、ドイツ・ウルム歌劇場の専属歌手となる。

1985年にリリースした初アルバム「日本のうた」(日本コロムビア)で一躍脚光を浴びる。

CDは「ザ・ベスト鮫島有美子が歌う日本のうた」「ザ・ベスト鮫島有美子が歌う世界のうた」(共に日本コロムビア)など多数。

1990年、日本ゴールドディスク大賞。

1990年、「ベルリンの壁崩壊」の翌年、NHK紅白歌合戦に出演。ドイツから「菩提樹」を熱唱。

1992年から2008年まで、日本の代表的オペラである團伊玖磨作曲の「夕鶴」の”つう”を演じ、好評を博す。

2009年11月12日、国立劇場で举行された「天皇陛下御在位20年記念式典」において、祝いの歌(日本歌曲、フォークなど数曲)を歌う。また、2019年2月24日、国立劇場で举行された「天皇陛下御在位三十年記念式典」の記念演奏において、当時の皇后陛下美智子さま作曲の子守歌「おもひ子」を、吉野直子(ハーブ)の伴奏で独唱する。

著書に「歌の翼に」(音楽之友社)、「プラタナスの木陰で」(時事通信社)。

2015年、CDブック「天皇陛下御作詞皇后陛下御作曲歌声の響」(朝日新聞社)。

2016年、CDブック「皇后陛下美智子さまの子守歌おもひ子」(マガジンハウス)。

2018年、内藤濯詩/皇后陛下美智子さま御作曲「星の王子の…」を文藝春秋より刊行。

2022年、CD「ひばりさんへのオマージュ」を日本コロムビアより発売。

多くの一流の外国人演奏家の方たちと親しくご交流を持たれる美智子さま。

その音楽への純粋な思いは、ご自身の手による御作品にもあふれています。

美智子さまの御作品やオペラ、日本の歌を歌い続け、昨年はどうとう美空ひばりさんの曲にも「挑戦」しました。40年以上過ごしたヨーロッパでの日々、ドイツの歌劇場や生活のなかで感じた「歌」への思いをお届けいたします。